

番組審議会

第8回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日 : 2023年10月19日(木)

■開催場所 : BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員(敬称略)7名中7名出席 *あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

川上和久 (麗澤大学教授)

久保博 (一般財団法人 日本スポーツ推進機構(NSPO)理事)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役) *リモート参加

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長) *リモート参加

山田奈美香(山田・尾崎法律事務所 弁護士)

■議題

- 1.開会の辞(審議委員長)
- 2.開会の挨拶(稲垣社長)
- 3.編成関連のご報告(7月改編総括、10月改編説明、ジャンル種別・比率報告)
- 4.視聴者からの反応のご共有(コールセンターレポートより)
- 5.番組審議
対象番組:開運リフレッシュバラエティ『自転車でイイところ行ってみよう!』
①2023年4月23日 放送回#25
②2023年5月7日 放送回#26
- 6.閉会のご挨拶(泉副社長)
- 7.閉会の辞(審議委員長)
- 8.事務局からの連絡

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より、7月に大幅な改編を図ったため、10月は小幅な規模の改編としたことを報告し、今回の審議対象番組開運リフレッシュバラエティ『自転車でイイところ行ってみよう!』は公益財団法人JKA(旧日本自転車振興会)の営業的な要素が多い番組であることを説明し、審議会をスタートした。

■審議の経過の概要等

1.編成関連の報告

専務取締役兼編成制作局長より、7月改編の総括について、前回の審議会でコストの見直しを図ることによるクォリティ・ダウンや視聴者離れを懸念する意見があったものの、改編前と比較し、2倍から3倍の視聴量を獲得し、番組のYouTube配信も多いもので10万回以

上の再生を超える番組が育っていることを報告し、審議委員に理解された。

続いて、編成運行責任者より、本年4月から10月までのジャンル種別・比率報告について、放送実績データを基にCM放送時間総量の設定基準が基準内に保たれていることが説明され、全審議委員に確認された。

2. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より、7月～9月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に理解された。

審議委員から、視聴者からリクエストや感想が多く寄せられた野球中継についての今後の放送企画についての質問があり、稲垣社長より、放送権獲得の可能性や費用対効果を鑑みながら計画したい旨を回答し、理解された。

3. 番組審議

対象番組：開運リフレッシュバラエティ『自転車でイイところ行ってみよう！』

2023年4月23日 放送回#25

2023年5月7日 放送回#26

初めに、制作を担当したコンテンツビジネス本部コンテンツ推進部の番組責任者から番組概要についての説明を行い、続いて審議委員長による進行により、各審議委員から寄せられた質問については、番組責任者が応答する形式で番組審議を進行した。

①各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・メイン出演者であるフットボールアワー岩尾氏とノンスタイル井上氏のベテラン芸人2人のやりとりに安定感があり、BSよしもとの特徴でもある、地上波では見られないほのぼのした雰囲気醸し出されており、とても良かった。

- ・番組名である「自転車」の魅力を、より引き出せるポテンシャルがあるのではないかと。
- ・企業提供番組であるため、CMの質・量や企業の事業紹介コーナーとのバランスが気になるものの、補助事業の紹介に工夫が見られるので、番組全体が視聴者にとってより有益な情報が得られるような企画にしたらより良いのではないかと。また、取材を受ける側にもプレゼンの機会を与えるなどの試みが望まれる。

- ・トークをしながらの自転車走行となるため、交通安全に充分配慮した収録を行って欲しい。

②これらの意見に対し、番組責任者より、以下のような回答を行い、理解された。

- ・いただいたご意見の数々は、制作担当者間でも常に議論していたポイントであるが、

コロナ渦での番組開始だったため、アップデートできていない部分が多々あり、伸びしろのある番組であると制作陣も認識しており、今後もより良い番組制作を目指したい。

・自転車の打ち出しが少なく感じられる要因として、安全第一で、事故が許されないというスポンサーの意向による制約はあるものの、バランスを意識し、工夫しながらより自転車の魅力を引き立たせた番組にしてゆきたい。

また、地方の魅力を紹介する手段としての一般人との交流についても、コロナ渦の名残が続いている段階にあり、今後の課題としてより良い番組制作に反映してゆきたい。

7.閉会の挨拶

最後に事務局より次回の開催時期を確認後、泉副社長により、本日の意見を今後の番組制作に活かしていきたい、また SDGs の活動の促進、地方創生の一環としての「うた自慢まち自慢」を放送自治体での YouTube 配信等、試行錯誤を重ねながら、“BS よしもとらしさ”を増やしている旨の閉会の挨拶が述べられ、続いて審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2023年10月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

大原鶴美（副委員長／プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ(ナミねえ)（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

以上